

明峰中学校と小瀬高校は連携型中高一貫教育に取り組んでいます。これまでの連携活動について紹介します。

●ふれあい花壇:交流苗植え

12月1日(火)、小瀬高と明峰中の生徒たちが夏から秋にかけて花壇を彩ってくれたサルビアを回収し、8日(火)にビオラの苗植えを行いました。小瀬高JRC部2年生と明峰中生たちが手際よく作業をし、ふれあい花壇を整備しました。定植されたビオラが冬から春に向けて、そこを通る人たちや私たちの心を癒やしてくれることでしょう。



役目を終えたサルビアの運び出し



ビオラの苗植え

●「国際宇宙ステーションの世紀」中高一貫教育講演会

12月10日(木)、種子島宇宙センター元所長の菊山紀彦氏を講師にお迎えし、小瀬高校生と明峰中1・2年生を対象に中高一貫教育講演会を実施しました。菊山先生からは、宇宙飛行士の生活や訓練、日本人宇宙飛行士の活躍の他、人類の文明や地球環境を守るために世界の人々が力を合わせなければならないこと等、興味深いお話をいただきました。宇宙に対する関心を高めるとともに、人類の繁栄と地球環境の保持といった課題について考えを深める貴重な機会となりました。

～鈴木 埜乃果さん(明峰中)の言葉～

国際宇宙ステーションが1日に16周、90分に1周していることやその中でキャベツなど野菜を栽培していることに驚きました。約300年後には、たくさんの人たちが他の星やコロニーで暮らせるかもしれないという話が印象に残り、いつか宇宙に行ってみたいと思いました。

～檜山 菜緒さん(小瀬高、御前山中出身)の言葉～

宇宙飛行士が宇宙空間で宇宙服姿のまま8時間通しで仕事をすることや植物を自分たちで育てていること等、宇宙には沢山の魅力がある事を知りました。尿を水に変えて再利用している事には驚きました。文明を守り繋げていくためには、地球を綺麗にすることが大切だと感じました。



講演後、積極的に質問する明峰中生徒

小瀬高生徒会長から菊山氏へ謝辞